

＜ もくじ ＞	
1. 追悼 福原春義さん	1
2. 2023年度連続講座第1回の結果報告の報告	1
3. 2023年度連続講座第2回～4回開催のお知らせ（再掲）	3
4. 長期計画検討委員会からのお知らせ	3
5. 研究会からのお知らせ	4
6. 研究会からの概要報告	5
7. 事務局からのお知らせ	6

1. 追悼 福原春義さん

資生堂の名誉会長であり、シニア社会学会の二代目会長であった福原春義さんが8月30日にご逝去されました。芸術への造詣が深く、企業の文化活動を支援し、女性の地位向上にも熱心に取り組まれました。銀座の資生堂ホールで、お茶とケーキ付というまことに贅沢な連続講座を開催することができたのは、福原さんのおかげです。シニア社会学会の活動について、文化の重要性を説かれたことがあります。福原さんからいただいたアドバイスを銘記し、これからの活動を続けていきたいと思えます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

（一般社団法人シニア社会学会会長 袖井孝子）

2. 2023年度連続講座「長寿時代を生き抜く知恵 Part 2」第1回(9/9)の結果報告

■ 第1回のテーマ：「長寿時代、あなたはどうか生きる？」

- 1) 日 時：9月9日(土) 14:00～16:00
- 2) 講 師：袖井孝子
(シニア社会学会会長、東京家政学院大学特別招聘教授)
- 3) 会 場：東京家政学院大学 1501教室
- 4) 参加人数：会場31名、オンライン14名
(会員21名、非会員24名)



＜概要報告＞

① 人生70年時代から人生100年時代へ

100歳以上人口が9万人を超え、人生100年時代も夢ではない時代が到来したにもかかわらず、現在の日本における個人のライフコースも社会のシステムも人生70年時代のままである。人生70年時代は高度経済成長期（1960年代～70年代）であり、ピラミッド型の人口構成を背景に、終身雇用・年功賃金・企業内福利制度といった日本型経営が行われ、夫婦に子ども二人の核家族が標準世帯とみなされ、「夫は仕事、妻は家事育児」の性別役割分業が当たり前であった。

こうした社会システムを前提にした社会保障制度は、支え手が減少する少子高齢時代を迎えその存続が危ぶまれている。これらを前提として、個人のライフコースも定められており、一定年齢に達したら進学し、就職し、結婚して家庭を築き、子どもに勉強部屋を与えるために家を建て、住宅ローンを抱えて定年まで働くという画一的なものであった。他方、専業主婦の妻は、子育ての手が離れたらローン返済や子どもの教育費のためにパートで働くというのが普通だった。

それに対して、老年人口が子ども人口をはるかに上回る人生100年時代（経済成長期の100年

後?)には、定年までの雇用保障は消滅し、柔軟な労働市場や多様な働き方が実現するだろう。離婚、再婚、未婚、同性婚など家族は多様化し、標準世帯は存在しない。一つの企業に務めあげ、同じ配偶者と生涯添い遂げる人生から、何度でもやり直し、転換する多様なライフコースをたどるのが珍しくはなくなる。若者中心文化から年齢にこだわらないエイジレス文化に、性別役割分業社会からジェンダーにこだわらないジェンダーレス社会へと変化するものと思われる。

② ライフシフト

L. グラットン/A. スコットはベストセラーになった書物『ライフシフト 100年人生戦略』(東洋経済新報社、2016年)の中で、人生100年時代には、教育・仕事・引退といった固定的なモデルが崩壊し、多様な選択の可能性が出現すると述べている。変化の激しい時代を乗り切るには、①生産性資産(稼ぐ力)、②活力資産(生きる力)、③変身資産(状況対応能力、変わる力)という無形の資産が、金銭や財産といった有形の資産よりも重要である。

定年退職後、あるいは子どもが独立した後に長い人生が残されており、二毛作、三毛作も夢ではない。現在の高齢者は、体力的にも若く、仕事も家庭も趣味も地域活動もといった多様な選択が可能である。

③ 多様な選択

1) 働く・社会に参加する: 日本の高齢者の多くは働いている。20世紀の終わり頃までは、生きがいや健康のために働く人が少なくなかったが、リーマンショック以降は経済的理由で働く人が圧倒的に多い。公的年金は縮減し、受給年齢が引き上げられているため、働かざるを得ないのが実情である。その一方で、社会参加が多いほど認知症や要介護になる確率が低下するということが実証されており、運動や栄養よりも社会参加や人との交流が健康長寿の鍵である。

2) 学ぶ: 自治体の生涯学習講座や大学における社会人向けのコースが増える傾向にある。東京家政学院大学大学院では、年齢や性別を問わず受講できる科目等履修生の制度を昨年発足させた。修了者には、まちづくり人材である「地域プロデューサー」の資格が与えられる。入学金や授業料を免除する制度もあるので、ぜひ多くの人に来てほしい。

3) 趣味: 高齢になっても身体的・経済的な変化に対応できるよう、一つよりも複数の趣味を持つことを勧めたい。夫婦で共通の趣味を持つことにはメリットとデメリットがあり、競争的になるようなものは避けたほうがよい。ジョギングを共にする夫婦は離婚しやすいというアメリカの調査研究もある。趣味はいつでも、いつからでも始められるし、趣味を通じての交流が生きがいや健康につながる。

④ これからのシニアに求められるもの

生涯現役が説かれるが、必ずしも働くことではない。心身機能が低下しても、社会のため、他者のためにできることはある。ITやICTを活用して、情報収集能力を高めることが望ましい。公助が後退しつつある現在の日本では、地域における支え合いのネットワークを構築することが必要である。

⑤ 次世代のために何ができるか

少子高齢化が猛スピードで進行している今日、持続可能な社会保障制度を維持するために、高齢者にもある程度の負担は避けられない。戦争への足音がかつてないほど近づきつつある今日、戦中・戦後の体験や平和の大切さを次世代に伝えるのがシニアの役割である。次世代が安心して暮らせるような社会を実現するために、積極的に発言し行動することがシニアの、そしてシニア社会学会にとっての課題である。

(袖井孝子 記)

以下、参加者アンケートからの回答の一部をご紹介します。

- * 自分が高齢期をどう過ごすかということだけでなく、次世代のためにどう生きるかを考えると、前向きに明るい気持ちになりました。ありがとうございました。(会員 70歳代 女性)
- * 戦中、戦後体験の継承。コワイ時代になっている。「戦争は割に合わない」ということを袖井先生が声を出されたことは重要だと思います。(非会員 60歳代 女性)
- * 4-2 人生70年時代と、人生100年時代 70年時代を過ごしてきていま、80代に入り感じる世代差。考え方、興味のありどころ等、合点する事が多い。(非会員 80歳代 女性)

- * ・人生 70 年時代と人生 100 年時代との対比によるお話は歴史の理解に役立ちました。・年をとっても老人にならない、病気になっても病人にならない。(会員 80 歳代 男性)
- * 「次世代のために何ができるか」について、袖井孝子先生からの強いメッセージを受け取りました。(会員 60 歳代 女性)
- * 「6-3学ぶ」大学冬の時代における社会人入学制度の充実への提言と、フィールドワーク先の取り組み。東京家政学院大 HP では授業を探すことはできませんでしたが、那須まちづくり広場にアクセスし、訪問してみたいと思いました。また、「8. 次世代のためになにができるか」はじめ先生のご講義を受けて、前向きに自分の人生を考えていきたいと思いました。袖井先生、ありがとうございました。(非会員 60 歳代 女性)

3. 2023年度連続講座 第2回～4回開催のお知らせ(再掲)

◆第2回10月7日(土) 14:00～16:00

テーマ:「健康で長生きするための簡単食事術！」

講師:稲山 未来 (Kery 栄養パーク代表 認定在宅訪問管理栄養士)

◆第3回11月11日(土) 14:00～16:00

テーマ:「人生 100年時代を楽しむための準備:とても大事な排泄の話」

講師:小島 みさお (シニア社会学会会員 NPO 法人日本コンチネンス協会副会長)

◆第4回12月9日(土) 14:00～16:00

テーマ:「老若定めなく寿命こそ計りがたし～人生を走り抜けようとしている者の感慨」

講師:濱口 晴彦 (シニア社会学会副会長 早稲田大学名誉教授)

安田 和紘 (シニア社会学会理事 元目白大学教授)

□ 主催:一般社団法人シニア社会学会・東京家政学院大学共催

□ 会場:東京家政学院大学三番町キャンパス 1501 教室 ※10月7日のみ 1602 教室

□ Zoom 併用によるハイブリッド開催

□ 参加費: 会員・非会員:各回 1,000 円 (学生:無料)

※ オープン講座ですので、会員以外の方の参加も歓迎いたします。

※ 参加をご希望される回を自由に選択いただけます。複数回のお申込みも可能です。

※ 各回の開催日前々日までにお申込み下さい。

※ 詳細については添付のチラシをご覧ください。

4. 長期計画検討委員会からのお知らせ

長期計画検討委員会では、シニア社会学会における一年間(2022年度)の活動評価をまとめました。本評価結果についての報告会&ディスカッションを下記日時にて開催いたします。

1) 日 時:2023年10月8日(日) 13:00～14:30

2) 対 象:シニア社会学会会員(参加費 無料)

3) 場 所:Zoom 開催

ご参加される場合は、下記 URL より入室をお願いいたします。

学会メンバーのみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

【URL】

<https://us02web.zoom.us/j/88675823107?pwd=MIZEVmpGM25DVnZROFFZdC9rWFdmZz09>

【ミーティングID】886 7582 3107

【パスコード】 625906

【QRコード】



5. 研究会からのお知らせ

(1) 第90回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ（再掲）

- 1) 日 時：2023年9月21日（木） 15:00～18:00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第6共同研究室
- 3) テーマ：報告書入稿原稿の確認及び費用について
- 4) 参加費：300円

※ お問い合わせは、島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) までお願い致します。

(2) 第47回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2023年9月22日（金） 17:30～19:30
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) テーマ：戦時中、本当にあった「人造石油プロジェクト」
- 4) ファシリテーター：柴本淑子さん

※ ご連絡ご質問は、中村昌子 (nakamurayoshiko6@gmail.com) までお願いします。

(3) 第37回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2023年9月23日（土） 18:30～20:30
- 2) 場 所：品川区東大井 5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及びその他 YNS やまぶき任意後見サポート会
- 4) テーマ：認知症とともに生きる

「信託」と「任意後見」の併合を考えていきます。

劇団 ^{びしょうざ}「B笑座」第24回。

認知症らしさを体験することで新たな発見が生まれます。人形劇、寸劇、その他劇団員募集しています。Zoomの参加もできます

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄 (mme_masumi@yahoo.co.jp) 迄お願い致します。

(4) 第45回「社会情報」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2023年10月2日（月） 10:00～11:30
- 2) 場 所：市川市男女共同参画センター6階 F 研修室
- 3) 概 要：ナルク市川向け俱進会助成事業報告会

※ 会場の都合で、関係者以外の参加はできません。

※ ご質問のある方は、森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

(5) 第154回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2023年10月25日（水） 18:00～20:00
- 2) 報告者：小島克久（国立社会保障・人口問題研究所 情報調査分析部長）
- 3) テーマ：「新型コロナ禍の台湾における外国人介護労働者の動向—公表データを用いた分析」
- 4) Zoom でいたしますので、参加を希望される方は、阿部と小島にご連絡ください。

阿部富士子 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp 小島みさお kojima.misao01@gmail.com

※ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

6. 研究会からの概要報告

(1) 第46回「ライフプロデュース」研究会の報告

- 1) 日 時：2023年8月25日（金） 17：30～19：30
- 2) 報告者：清水春代さん
- 3) テーマ① 「2023年 私の夏」(3分間でアウトプットしてみよう！)
テーマ② 医療費を節約できる、賢いお医者さんのかかり方
③ ②についての 質疑応答

4) Zoom 開催

- ① 出席者（計6名）の近況報告がなされました。体調が芳しくなかった人、旅をした人、日常生活の中の変化など、状況は様々ですが、人生100年時代といわれる世界の中で、しっかりと自分を見つめ、自分の人生を生き抜こうとするバイタリティーに、感心させられ、よい刺激を頂きました。
 - ② 日本は、国民皆保険制度があり、保険診療により、誰でも気軽に病気の治療ができます。保険診療の仕組みについての説明に続き、診療時間によって治療費が、高くなるので（クリニックでは、土曜日の午後から日曜日は受付時間内でも高くなる）、受診は平日の受付時間内に受診することが節約につながる。又、かかりつけ医をもち、医療機関のはしごをしないほうがよいこと。処方箋の場合は、かかりつけ薬局を決めて、お薬手帳を出すことで、調剤薬局でも節約ができる。高額療養費制度があること。等を説明させていただきました。
 - ③ 何でも相談できる、かかりつけ医をもつことは心強い。どうやったら探せるか。かかりつけ医は相性も大切である。又、状況によっては（治療に満足できない、納得できない等）、セカンドオピニオンを利用する事は、誰にも与えられている権利であるので、かかりつけ医に対して遠慮なく申し出ることも必要である。等の意見が出ました。
- 終わりに、超高齢者社会、新型コロナウイルス感染症等、社会情勢による影響で、私たちが直接感じられることは、物価高かもしれません。又、SDGsなども最近幅広く浸透しています。医療費についても、個人が節約することは、国の支出の節約（医療費についても国・都道府県・市町村からの補助がある）になることを知って欲しいと思い、今回の発表をさせていただきました。

（清水春代 記）

(2) 第36回「YNSやまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時：2023年8月26日（土）18：30～20：30
- 2) 場 所：品川区東大井 5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員（YNS やまぶき任意後見サポート会）
- 4) テーマ：認知症とともに生きる

劇団 「^{びしょうざ}B笑座」第23回。

「人形劇」も混ぜて、楽しく寸劇を行いました。Zoom参加者も増えました。今後に活かしたいと思います。

（鈴木眞澄 記）

(3) 第44回「社会情報」研究会の報告

- 1) 日 時：2023年9月6日（水）15：00～17：00
- 2) 場 所：上野区民館 201号室
- 3) テーマ：俱進会調査研究報告会 あざみ野振り返りと市川での役割分担について
- 4) 概要
 - ① 新規加入の松島悦子さんの自己紹介と各人の自己紹介
 - ② あざみ野報告会の振り返り（安田）
 - ・あざみ野団地ではパソコン講座に加えてスマホ講座が開始する。
 - ・横浜市のデジタル活用の施策に乗っていきたい。

- ・すすきの団地ではNPOが地域に入った結果、LINEで連絡するようになった。
- ③ 市川での報告会までの活動の流れ（柴田）
 - ・ナルク市川のこれまでのスマホ講座の流れ
 - 9月 かもめIT教室代表岩間麻帆講師による、座学でのスマートフォン講座開催
 - 9月15日 千葉商科大学学生のサポートでスマホの個別実習 13:00~15:00
八巻・齋田・森が見学を兼ねて参加。
 - 10月2日 更に学習を深めるために調査報告会開催
 - ・報告会
 - テーマ「シニアのICT（スマホ）の利用実態調査報告と活用推進のための提言」
 - 報告者：森嶋、司会：柴田
 - 報告45分、質疑応答45分
- ④ 2024年3月の研究会合同イベント（当研究会担当）に関して
 - ・千葉商科大学の学生さんとのコラボを検討
 - ・9月15日のスマホ講習見学後、10月中に案を提示して皆で検討を始めたい。

（森やす子 記）

7. 事務局からのお知らせとお願い

<会員情報変更時のご連絡のお願い>

事務所移転後は、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・メールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あて連絡は、eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせください。

<2023年10月JAAS Newsの発行日>

次回JAAS News第290号の発行日は、2023年10月18日（水）です。原稿をお寄せ下さる方は、10月13日（金）までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人 シニア社会学会・事務局
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア1037
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>